

令和8年度 Ⅰ 学期終業式講話

明日から長い夏季休業になります。42 回生の皆さんにとっては、充実したⅠ学期を過ごすことができたのではないのでしょうか。

青志祭“最”は最後の一学年だけの運営になりましたが、生徒の皆さんは、お客さんのためにホスピタリティを発揮してくれました。皆さんが一生懸命に取り組む姿はとても感動しました。

また、今学期は、生徒の皆さんが夏季の学校生活にふさわしい服装を検討した結果、北高ポロシャツが完成しました。これまで生徒の皆さんから意見が出ていた夏季の服装について、この度検討委員を募り、生徒中心にデザインを決め、着用のルールも作りました。皆さんが学校生活に関わることを決める主体として活躍してくれたことをとても嬉しく思っています。

そして、青志祭当日には学校運営協議会が開催され、生徒会役員が出席してくれました。会議では、生徒を代表して「青志祭で生徒の考えをどのように反映させたか」、「最後の一年、北高が地域でどのように貢献したいか」、「ポロシャツ完成まで生徒の委員会がどのように取り組んだのか」などを語ってくれました。

出席された委員の方は、生徒の声を生で聞くことが出来たことの喜びだけでなく、学校で掲げてきた「最後まで三木北らしく」という思いを、生徒を代表して、自らの言葉でしっかりと述べてくれたことに感動しておられました。

皆さんにはいつもお話していますが、「自分で考え、決定し、行動する」とことは、これだけ生成 AI が浸透した社会ではより大切になります。

3月の終業式で紹介した『モチベーション脳』という本の「誰かが押してくれる“やる気スイッチ”はない」という話を覚えていますか？自分から動く“能動的な行動”がないと脳はやる気が出ない、「まず行動を起こすこと」

の大切さを話しました。

4月にお招きした中山芳一先生のご講演における「非認知能力」の話は、何も難しい話ではありません。皆さんが勉強以外のことでも自分が頑張ってきたことは学習にも活きる(「学習転移」)ということでしたね。諦めずに行動を継続すれば、少しずつ良い方向に向かいます。

先日の部活動引退式では、各部の代表からは、「協力」「継続」「感謝」「コミュニケーションの大切さ」が語られ、他校生が経験しなかった不自由な環境を克服し、前向きな気持ちで頑張り抜いた頼もしい姿を感じることが出来ました。

皆さんは、これまでの取組により、「自分で考え、決定し、行動する」力は**責任感、粘り強さ、協調性**が加わり、トータルで人生を切り拓く大きな力に成長していると思います。

さて、図書室には空調が効いた立派な自習空間が整備されました。昨日の全校集会では校内自習で頑張った人の表彰がありました。学年の先生からは黙々と学習をする生徒が増えてきていると聞いています。

先生方も校訓の「**自学**」について、生徒たちが“やらされる”のではなく、“**自発的**”に取り組むよう、今年は重点的に取り組んでいます(探究発表会では宿題の効果について研究していた班があり、自分のために取り組む意識の大切さに触れていて、興味深く聞かせてもらいました)。

皆さんも暑い夏ですが、体に気をつけて、各自の学びを前進させ、希望する進路の実現のために頑張ってください。